

広告募集

納税通知書等
送付用封筒

問い合わせ 市民税務課 ☎2127

平成31年度の納税通知書などを送付する封筒の裏面に掲載する広告を募集します。

募集期間

11月1日(木)～12月14日(金) 17時まで

サイズ

縦90mm×横90mm

長形3号の封筒の裏面に掲載します。色は単色で、市が指定します。

市内特別(市民税務課) 裏面(イメージ)

広告枠 縦 90mm × 横 90mm	広告枠 縦 90mm × 横 90mm
(有料広告についての市の取り組みの趣旨を記載)	

募集枠 2 枠

掲載料

募集最低価格 1 枠60,000円

選考方法は入札方式です。募集最低価格以上で申し込んでください。

年間発送予定数

44,000通

発送時期

大部分を4月から7月に使用しますが、8月以降も賦課変更などによる随時の納税通知書などの送付に使用します。

申込方法

1 から 3 の書類を市民税務課に提出してください。

1 大竹市封筒広告掲載申込書(市ホームページからダウンロードできます)

2 広告原稿(原稿作成にかかる費用は広告主の負担です)

3 税などの完納証明書(市内事業者は不要です)

選考方法など

広告内容などの掲載の適否を審査し、最も価格が高い申込者から順に広告主を決定します。同額の申込の場合は市内の申込者を優先します。それでも決しない場合は申込順とします。

後日、申込者全員に結果をお知らせします。

募集詳細は市ホームページをご覧ください。

市では、市民サービスの向上と地域経済の活性化を図るため広告収入による財源の確保に取り組んでいます。



原爆資料館見学で平和学習。



カーブ観戦でジェット風船を飛ばして応援。



「来年また会いましょう」お別れ会(記念品贈呈)

3 日目【8月7日】

原爆資料館の見学や被爆体験講話など、自分の目や耳で戦争の実態を学びました。宮島に渡り、しゃもじ作り

4 日目【8月8日】

や商店街散策、夜はカーブ観戦で盛り上がりました。
最終日のお別れ会は、それぞれが4日間の思い出を語る笑顔あふれる時間でした。見送りの空港では、来年の再会を約束して別れを惜しみました。

平和のためにできること 参加者の感想文から―

「被爆体験講話の中で、『黙っているだけでは平和にならない』とおっしゃった言葉が、私の中で一番心に残っています」
「平和記念式典では、73年経った今でも世界各国から、たくさんの方が参列していて、戦争の歴史を決して忘れること無く、未来へ伝えていかなければならないことだと強く思いました」
「(原爆資料館の展示を見て)たくさんの方々の苦しい、助けてという思いを感じました。そして、絶対に戦争は二度と起こしてはならないことだと思いました」

中学生交歓交流事業

沖縄県豊見城市と大竹市が隔年でお互いの中学生を派遣し、平和学習や体験学習を通して、広い視野と友情を深めることを目的とする。

対象：市内中学生

(募集年に1、2年生)

※ 次回募集は再来年の5月を予定。



「(研修の中で)『戦争体験の話は例え身近に話してくれる人がいたとしても、自分たちが聞こうとしないといけない』と聞き、戦争の話に限らず、どれだけ環境が整っていても、自分から動かないと意味がないことに気づきました」



問い合わせ 生涯学習課 ☎5800

事前研修【6～7月全3回】

本研修を前に、大竹市の団員の友情を築くこと、また大竹における戦争の歴史や伝統文化などを学ぶことを目的に事前研修を行いました。



大竹の伝統工芸品、手すき和紙体験。



初めての顔合わせ、対面式は、ちょっと緊張気味。



アツアツのお好み焼き作りを体験。



平和公園で平和記念式典に参列。

策し、広島のアツアツを満喫。

2 日目【8月6日】

広島市の平和記念式典に参列し、平和への祈りを捧げました。また、お好み焼き作り体験や大型商業施設を散策し、広島のアツアツを満喫。

1 日目【8月5日】

豊見城市の団員を迎えての対面式。初めは皆緊張した様子でしたが、食事の時間などで少しずつ打ち解け、会話が弾んできました。